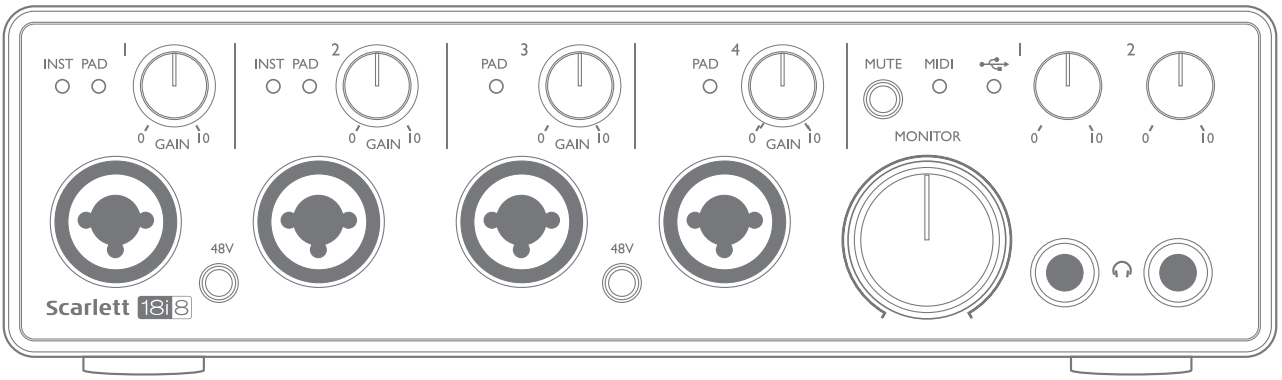
Scarlett 18i8

ユーザーガイド



Focusrite®

www.focusrite.com

FFFA001411-01

目次

概要 3
はじめに 3
特徴 3
同梱物 4
システム要件 4
Mac OS X 4
Windows. 4

さあ、 始めましょう. 5
ソフトウェアのインストール 5

各部の名称と特徴. 6
フロントパネル 6
リアパネル. 8
Scarlett 18i8 の接続 9
電源 9
USB 9
Mac OS X 9
Windows. 9
DAWでのオーディオセットアップ 10
使用例 12
マイクや楽器の接続. 12
低レイテンシーモニタリング 13
スピーカーへの接続 15
ADAT 接続の使用 16
スタンドアロンミキサーとしての使用. 17

FOCUSRITE CONTROL 18

仕様 20
性能仕様 20
物理的特性と電気的特性. 22

トラブルシューティング 23

著作権表示と法定通知. 23

概要

はじめに

第二世代の Scarlett 18i8 をご購入いただきありがとうございます。 本製品は、Focusrite プロフェッショナル用オーディオインターフェースシリーズの 1 つで、高品質 Focusrite アナログプリアンプが搭載されています。 本製品の付属ソフトウェア Focusrite Control と一緒に使用することで、お使いのコンピュータとの間で高音質のオーディオのルーティングを行うためのコンパクトかつ非常に用途の広いソリューションを実現できます。 また、一度 Focusrite Control で設定すれば、その他のレコーディング機器に対するスタンドアロンのインターフェースとして Scarlett 18i8 を使用することもできます。

製品登録を行えば、Focusrite Control およびその他複数のエキサイティングかつ便利なソフトウェアアプリケーションを無料でダウンロードすることができます。 注意：Focusrite Control ユーザガイドも別途用意しております。 弊社では、このガイドのダウンロードも推奨してます。

Scarlett インターフェイスの第二世代シリーズの開発に際しては、パフォーマンスと機能セットの両方が強化されました。 最大 192kHzのサンプルレートに対応するほか、低ノイズ化やゲインの大幅な増加など様々な改善によりマイクプリアンプの性能が向上しました。 ヘッドルームが追加されてインストゥルメント入力がアップグレードし、大きなレベルのギターのパートもクリッピングせずに録音することができます。

第二世代の Scarlett インターフェイスは、新しい Focusrite Control ソフトウェアアプリケーションと互換性があります。 これにより、さまざまなハードウェア機能のコントロール、モニターミックスのセットアップおよびルーティングの構成を行うことができます。 Mac および Windows それぞれのための Focusrite Controlインストーラーが用意されています。 また、Mac にはドライバーは必要ありません。 Windows 版のインストーラーには、ドライバーが含まれています。 そのため、使用する際にはどちらの場合にしても Focusrite Control をインストールするだけで構いません。

このユーザーガイドでは、本製品の操作上の機能を十分理解していただくためにハードウェアの詳細を説明しています。 弊社では、コンピュータベースのレコーディングが初めての方も、既に経験のある方にも、全ての方にユーザーガイドを最後まで読んで頂くことを推奨します。 そうすることで、Scarlett 18i8 および付属ソフトウェアの機能すべてを完全に把握することができます。 メインユーザーガイドのセクションに必要な情報が記載されていない場合は、必ずhttps://support.focusrite.com/をご覧ください。 本サイトには、広範囲にわたる一般的な技術サポートへの問い合わせに対する答えが掲載されています。

特徴

Mac OS X または Windows の USB 端子に Scarlett 18i8 オーディオインターフェースを接続することにより、マイク、楽器、ラインレベルのオーディオ信号および S/PDIF デジタルオーディオ信号を扱うことが可能です。 入力された信号は、お使いのオーディオレコーディングソフトウェア/デジタルオーディオワークステーション（本ユーザーガイドでは「DAW」と称します）へ最大 24 ビット、192kHzの解像度でルーティングすることができます。 同様に、DAW のモニターもしくはレコーディングされた信号は、本製品の出力部から構成されます。

出力部は、アンプやスピーカー、パワードモニター、ヘッドフォン、アナログミキサーまたはその他のアナログオーディオ機器に接続することができます。 Scarlett 18i8 上のすべての入出力は、レコーディングや再生の際直接 DAW との間でルーティングされますが、ユーザーのニーズに合わせて DAW 内部でルーティングを構成することも可能です。

付属ソフトウェアアプリケーションの Focusrite Control により、追加のルーティングとモニタリングオプションおよびサンプルレートや同期などのハードウェアのグローバル設定の制御機能を使用できます。

Scarlett 18i8 のすべての入力はレコーディングの際に DAW ソフトウェアに直接ルーティングされますが、Focusrite Control を使用することで、これらの信号を機器内で出力へとルーティングすることもできます。これにより必要に応じて、お使いの DAW に信号が達する前に超低レイテンシーでオーディオ信号をモニターすることができます。

Scarlett 18i8 には、MIDI データを送信および受信するためのコネクタも備わっています。これにより、コンピューターの USB ポートと、ユーザーのシステムにあるその他の MIDI 機器との間のMIDI「ハブ」として使用することができます。

同梱物

Scarlett 18i8 本体には以下の付属品が含まれています。

- 以下のオンラインリソースにアクセスする際に使用するバンドルコード*：
  - Focusrite Control（www.focusrite.com/downloadsのURLからも入手可能）
  - Focusrite Red 2 & 3 プラグインスイート
  - Softube Time and Tone バンドル
  - ProTools | First
  - Ableton Live Lite
  - LoopMasters サンプルライブラリ
  - Novation Bass station
  - Scarlett 18i8 および Focusrite Control 用の多言語対応ユーザーガイド
- USBケーブル
- Getting Started Guide および重要な安全情報*

* ギフトボックス内側に記載された情報

システム要件

Mac OS X

USB 2.0 または 3.0 対応の USB ポートが搭載された Apple Macintosh とインターネット接続*

OS：Mac OS X 10.10（Yosemite）またはOS X 10.11（El Capitan）**

Windows

USB 2.0 または 3.0 対応のUSBポートを搭載した Windows とインターネット接続*

OS：Windows 7（32 または 64 ビット）、8.1 および 10**

* オンラインリソースのダウンロードには、インターネット接続が必要です。

** システム要件は変更される場合があります。互換性の詳細については、以下のリンクを確認してください。
www.focusrite.com/downloads/os

さあ、始めましょう

重要：インターフェースをコンピュータに接続する前に、 Focusrite Control をインストールしてください。

注意：第二世代のScarlett 18i8 では、 Mac または Windows のいずれにも別途 USB ドライバをインストールする必要はありません。 Focusrite Control には、必要なドライバが付属しています。

ソフトウェアのインストール

Scarlett 18i8 に必要なすべてのソフトウェアおよび複数の強力かつ便利な追加ツールは、Focusrite ウェブサイト（www.focusrite.com/register）からダウンロードできます。「バンドルコード」は Scarlett 18i8 に付属しているギフトボックス内に印刷されています。また、シリアル番号は本製品の下側に記載されています。これらの情報は、ウェブサイトのダウンロードエリアにアクセスする際に必要となります。本手順に従うことで、最新バージョンのソフトウェアを入手することができます。

DOWNLOADING THE INCLUDED SOFTWARE

To download the included software, you will need to register your Scarlett 18i8 at focusrite.com/register
You will need the product serial number, found on the bottom of your 18i8 hardware.
Once you have entered the serial number, you will be asked to enter your BUNDLE CODE, found below:

PRODUCT BUNDLE CODE XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX

For an in depth video tutorial, please go to focusrite.com/get-started

Pour obtenir des instructions en Français sur la façon de commencer, veuillez-vous rendre sur focusrite.com/downloads
Für eine Kurzanleitung zum schnellen Start in deutscher Sprache besuche bitte focusrite.com/downloads
Para la guía de inicio en Español, diríjase a focusrite.com/downloads
所有使用说明中文版,请上网站: focusrite.com/downloads
日本語での説明書はこちら： focusrite.com/downloads
시작 방법에 관한 한국어 가이드는 focusrite.com/downloads 에서 찾으실 수 있습니다

1.お使いのブラウザで、www.focusrite.com/register/にアクセスします。

2. 画面上の指示に従ってシリアル番号を入力し、次に、バンドルコード（XXXXXX-XXXXXX-XXXXXX）を入力します。バンドルコードはギフトボックス内側に記載されています。

3.すると「My Product」ページにアクセスできるようになり、ここで、Focusrite Control および他のソフトウェア製品をダウンロードできます。また製品には、必要に応じてアクティベーションコードが含まれています。

4. お使いのコンピュータに適したバージョンの Focusrite Control（MacまたはWindows）をダウンロードしてインストールします。画面上のすべての指示に従います。

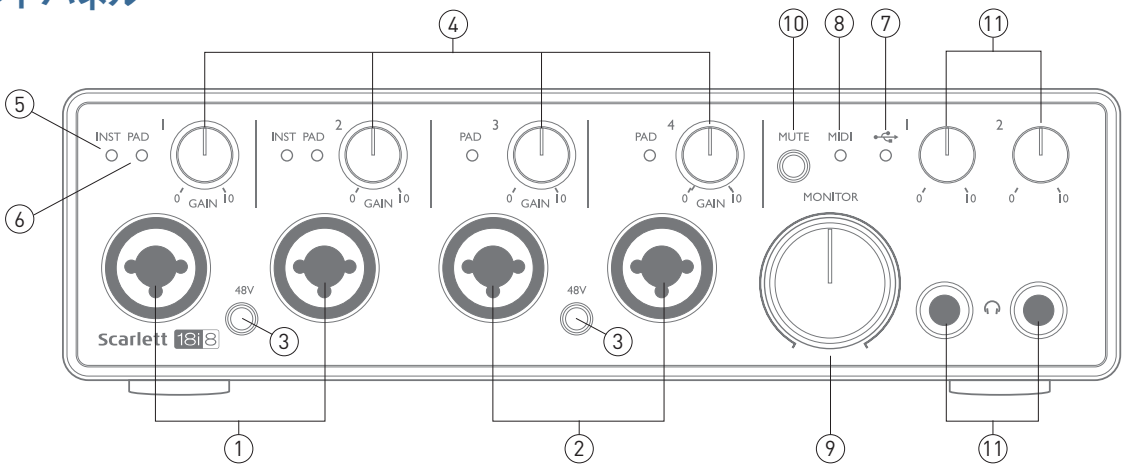
5. インストールが完了したら、コンピュータを再起動します。

6. 再起動後、付属のUSBケーブルで Scarlett 18i8 をお使いのコンピュータに接続します。

本ガイドには、2016 年 5 月時点での正確な情報が記載されています。ただし、弊社はカスタマーエクスペリエンスの向上に常に取り組んでいるため、この手順は変更されることがあります。内容に変更があると思われる場合は、www.focusrite.com/get-startedで最新の情報をご確認ください。

各部の名称と特徴

フロントパネル



フロントパネルには、マイク、ラインおよび楽器信号用の入力コネクタ、入力ゲインおよびモニタリングコントロール、ならびにヘッドフォン端子が備わっています。

1. Input 1 と 2 – XLR コンボタイプの入力ソケット - 必要に応じて XLR または¼インチ（6.35mm）ジャックにマイクロフォン、楽器（ギターなど）またはラインレベル信号を接続します。楽器またはラインレベル信号には、¼インチ TRS（バランス）または TS（アンバランス）ジャックプラグのどちらか一方を使用することができます。
2. Input 3 と 4 – XLR コンボタイプの入力ソケット – [1] と同様。ただし、マイクまたはラインレベル信号のみ接続することができます。楽器を直接接続する際には入力 1 および入力 1 と 2 を使用します。
3. **48V** – 2 つのスイッチを使用して、XLR 端子（マイク入力）のコンボコネクタのペア（1 と 2、3 と 4）での、48V ファンタム電源が使用可能になります。ファンタム電源が選択されている場合、スイッチが点灯します。
4. **GAIN** 1 ～ **GAIN** 4 – Input 1 ～ 4 のそれぞれの信号の入力ゲインを調整します。ゲインコントロールには、信号レベルを確認するための同心円状の 2 色の LED リングが備わっています。緑色は、最低-24dBFSの入力レベル（信号あり）を示します。信号レベルが 0dBFSに達すると、リングが赤に変わります。
5. **INST** – Input 1 と 2 のジャック接点の入力構成は、Focusrite Control のソフトウェアを使用して選択することができます。INST が選択されている場合、緑色の LED が点灯します。INST が選択されている場合、ゲインレンジおよび入力インピーダンスが変更され（LINEに対して）、入力がアンバランスになります。これによりインストゥルメントの直接接続（通常は 2 極（TS）ジャックプラグによる）用に最適化されます。INST がオフの場合、入力はラインレベル信号の接続に適します。ラインレベル信号は、3 極（TRS）ジャックによるバランスまたは 2 極（TS）ジャックによるアンバランスのいずれかの形態で接続することができます。
6. **PAD** – 入力信号パスのそれぞれに 10dB パッドを挿入することができます。この入力信号パスは、Focusrite Control からソフトウェアで制御されます。このパッドにより、入力ステージのヘッドルームが増加するので、マイクまたはラインレベル信号が強すぎる場合（最小ゲインの位置であってもゲインランプが赤く点灯している場合）、マイクまたはラインレベル信号を低減するためにこのパッドを使用しなければなりません。このパッドは楽器入力と使用することを目的としています。PAD が選択されている場合、LEDが赤く点灯します。

7. USB LED – 本ユニットが接続先のコンピュータによって認識されている場合に緑色の LED が点灯します。

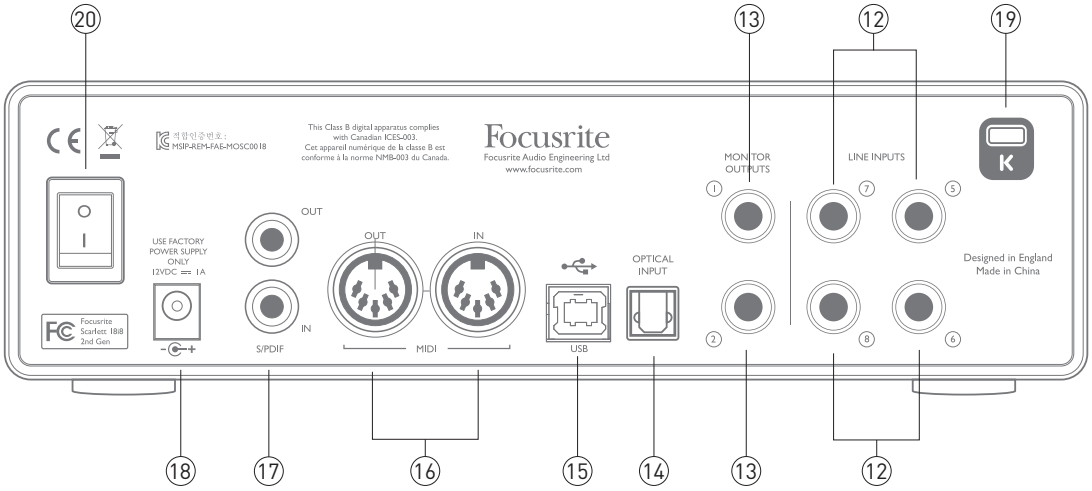
8. **MIDI** LED – MIDI IN ポートにMIDIデータを受信している場合に緑色の LED が点灯します。

9. **MONITOR** – メインモニター出力レベルコントロール – リアパネルの Output1 と 2 のレベルを調整します。

10. **MUTE**– ボタンを押して Output1 と 2 をミュートにします。 MUTE がアクティブな場合にボタンが点灯します。

11. – 1 つまたは 2 つのステレオヘッドフォンをヘッドフォンのボリュームコントロール 1 および 2 の下の 2 つの¼インチ（6.25mm）TRS ジャックソケットに接続します。 ヘッドフォン出力は Focusrite Control でアナログ出力 3 と 4 および 5 と 6 に（ステレオペアとして）現在ルーティングされている信号を常に伝送します。

リアパネル



12. **LINE INPUTS 5 ～ 8** – 入力は¼インチ（6.35mm）ジャックソケットでバランス入力です。ラインレベルのソースを追加する際は¼インチTRS（バランス）または TS（アンバランス）ジャックプラグを使用してこちらに接続します。

13. **MONITOR OUTPUTS 1** と **2** – ¼インチ（6.35mm）ジャックソケット上の 2 つのバランスアナログライン出力。バランス接続には TRS ジャック、アンバランス接続には TS ジャックを使用します。これらは一般的なモニタリングシステムにおけるメインのスピーカーを駆動するために使用されます。ただし、出力側の信号は Focusrite Control で構成が可能です。

14. **OPTICAL INPUT** – 44.1/48kHz サンプルレートの ADAT フォーマットでのデジタルオーディオのチャンネルを 8 つ、または、88.2/96kHz サンプルレートのチャンネルを 4 つ伝送することが可能なTOSLINKコネクタ。Scarlett 18i8 で追加の入力（11 ～ 18）を使用できます。注意：オプティカル入力は 176.4/192kHz のサンプルレートが使用される場合には無効となります。

15. USB 2.0 ポート – タイプ B コネクタ。Scarlett 18i8 を付属のUSBケーブルでコンピュータに接続します。

16. **MIDI IN**および**MIDI OUT** – 外部 MIDI 機器接続用の標準 5 ピン DIN ソケット。Scarlett 18i8 はブレークアウト（およびブレークイン）ボックス」として機能し、お使いのコンピュータとの間の MIDI データを他の MIDI 機器に分配できるようにします。

17. **SPDIF IN**および**OUT** – 2 つのチャンネルのデジタルオーディオ信号を S/PDIF フォーマットで Scarlett 18i8 との間で入出力が行える 2 つのフォノ（RCA）ソケット。基本的には Scarlett の Input 9 と 10 へ、または Output 7 と 8 から送られます。その他全ての入出力と同じように、これらの信号は Focusrite Control においてルーティングすることができます。

18. 外部DC電源入力 – 本製品に付属するACアダプタ（PSU）を介して Scarlett 18i8 に電源を供給します。Scarlett 18i8 は、ホストコンピュータからUSBポートを介して電源を得ることはできませんのでご注意ください。

19. **K**（ケンジントンセキュリティロック）– 希望に応じて、お使いの Scarlett 18i8 に適切なセキュリティ対策を施します。この機能の使用方法に関する詳細な情報は、www.kensington.com/kensington/us/us/s/1704/kensington-security-slot.aspxをご覧ください。

20. 電源オン／オフスイッチ。

Scarlett 18i8 の接続

重要：Scarlett 18i8 をお使いのコンピュータに接続する前に、
ページ 5 にある指示に従ってソフトウェアのインストールを完了してください。
これにより、確実にハードウェアが正しいドライバを使用し、予期せぬ動作を
防止することができます。

電源

Scarlett 18i8 は、12V DC、1A アダプターを介して外部から電源を得る必要があります。適切なアダプターがユニットに付属しています。

注意：付属の電源アダプターのみを使用することを強く推奨します。別のアダプターを使用した場合、製品が回復不能な損傷を受け、さらに保証も無効となってしまう恐れがあります。

USB

Scarlett 18i8 には USB 2.0 ポートが（リアパネル上に）搭載されています。ソフトウェアのインストールが完了次第、付属の USB ケーブル（推奨）でお使いのコンピュータに Scarlett 18i8 を接続します。（注意:Scarlett 18i8 はUSB 2.0 対応機器であり、USB を接続するには、USB 2.0 対応ポートがコンピュータに搭載されている必要があります。USB 1.0/1.1 ポートでは正しく動作しません。ただし、一般的に USB 3.0 ポートは USB 2.0 機器に対応しています。）

Mac OS X:

お使いのコンピュータはオーディオのデフォルト入出力を自動的に Scarlett 18i8 に切り替えます。これを確認するには、**[システム環境設定] → [サウンド]**で入出力が**[Scarlett 18i8]**に設定されていることを確認します。Mac のセットアップオプションの詳細については、**[アプリケーション] → [ユーティリティ] → [AUDIO MIDI設定]** の順で参照してください。

Windows:

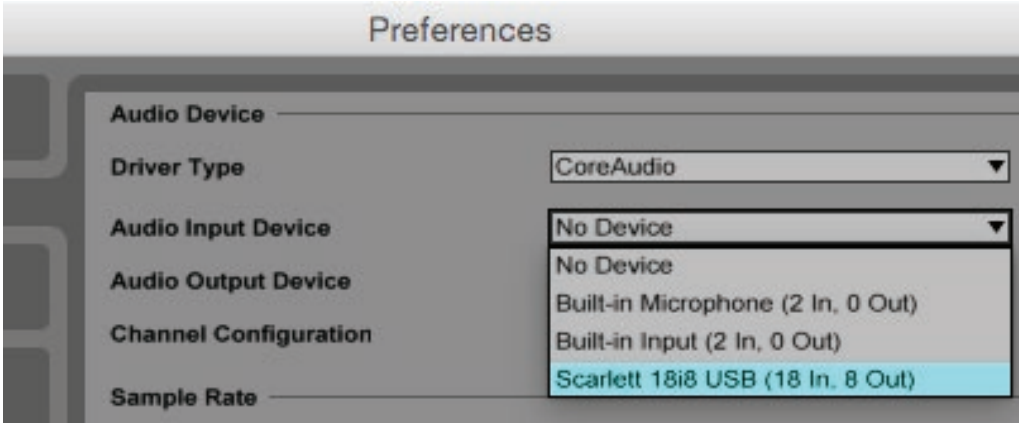
お使いのコンピュータはオーディオのデフォルト入出力を自動的に Scarlett 18i8 に切り替えます。これを確認するには、**[スタート] → [コントロールパネル] → [ハードウェアとサウンド] → [サウンド] → [オーディオデバイスの管理]** に移動し、**[再生]** および **[録音]** が **[Scarlett 18i8]** に設定されていることを確認します。

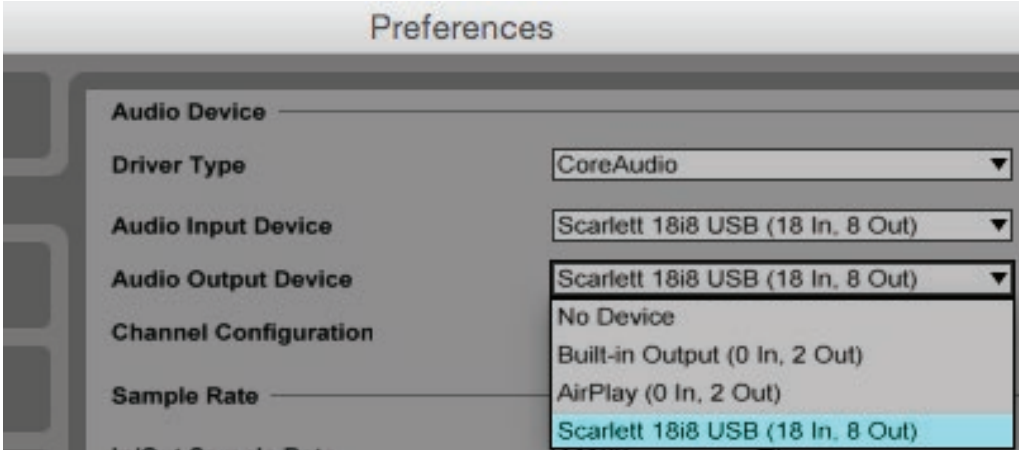
DAWでのオーディオセットアップ

Scarlett 18i8 は、ASIO または WDM 対応のすべての Windows ベースの DAW あるいは Core Audio を使用するすべての Mac ベースの DAW と互換性があります。Focusrite Control のインストールが完了し、本製品を接続したら、お好みの DAW ですぐに Scarlett 18i8 を使用し始めることができます。DAW アプリケーションがお使いのコンピュータにインストールされていない場合でも本製品を使用できるように、Pro Tools および First and Ableton Live Lite が付属しています。これらのソフトウェアは、オンラインでダウンロードしてアクティベートすることで使用できるようになります。いずれかの DAW をインストールするには、ページ 5 で説明されているように登録済みのFocusriteの「My Products」ページから適切なインストーラファイルをダウンロードして保存し、画面上の指示に従って実行します。

Ableton Live Lite および Pro Tools | First の操作説明は、このユーザーガイドの範囲外ですが、この両方のアプリケーションには、完全なヘルプファイル一式が付属します。Ableton Live Lite を開始するためのビデオチュートリアルは www.focusrite.com/getting-started からアクセスできます。

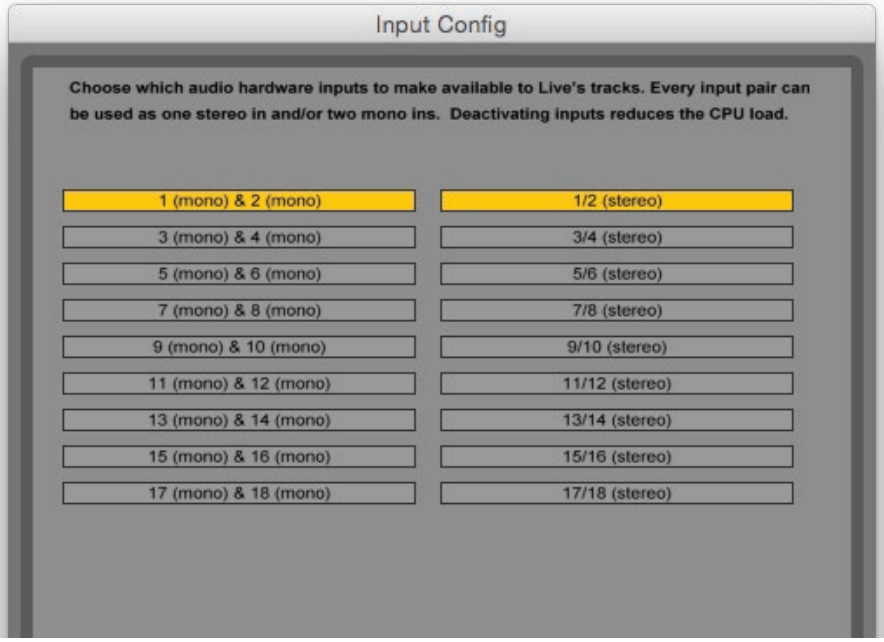
注意:DAW によっては、デフォルトの I/O デバイスとして Scarlett 18i8 を自動的に選択しないことがあります。その場合、お使いの DAW の**オーディオセットアップ***ページでドライバを手動で選択する必要があります。（Macでは **Scarlett 18i8** を、Windows では **Focusrite USB 2.0** を選択）ASIO または Core Audio ドライバを選択する場所がわからない場合は、お使いの DAW のドキュメンテーション（またはヘルプファイル）を参照してください。以下の例では、Ableton Live Liteの **環境設定**（Mac の場合）が表示されています。

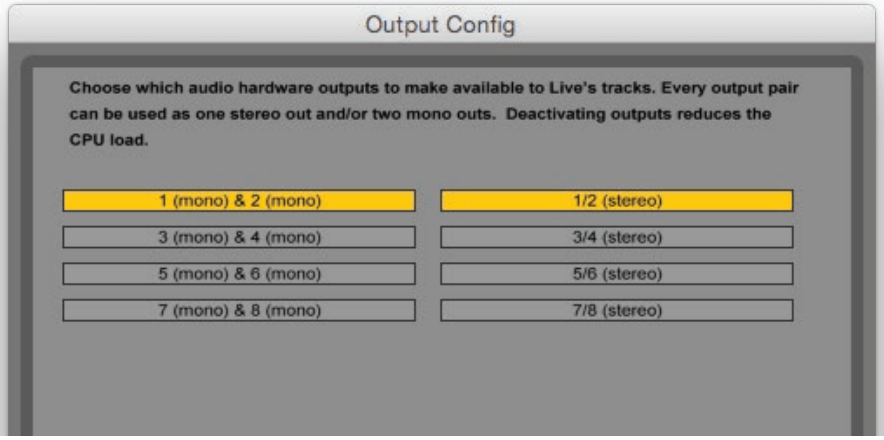




*一般的な名称。この用語は、DAW によって若干異なることがあります。

Scarlett 18i8 がお使いの DAW でのオーディオ機器*として設定されると、18 の入力と 8 の出力全てが DAW の環境設定のオーディオ I/O 欄に表示されます（注意：Ableton Live Lite では、同時に使用できるモノラル入力チャンネルは最大 4 つまで、モノラル出力チャンネルは最大 4 つまでに制限されています）。お使いの DAW によっては、使用する前に特定の入力または出力を有効にする必要があります。以下の 2 つの例では、Ableton Live Lite のオーディオ環境設定で有効になっている 4 つの入力および 4 つの出力が示されています。



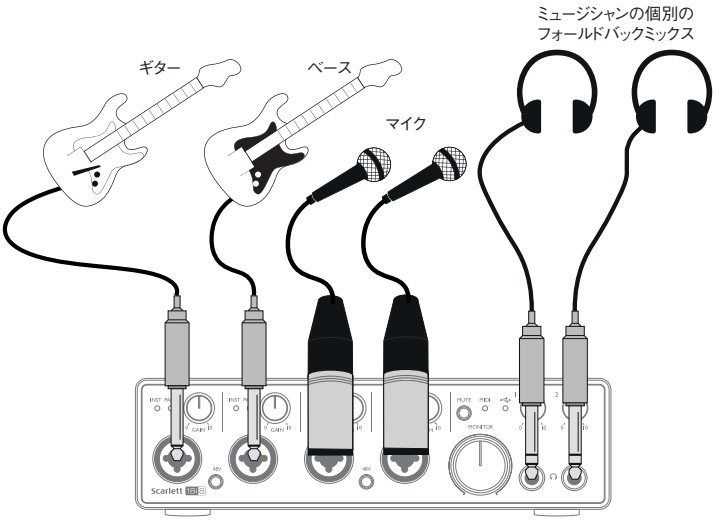


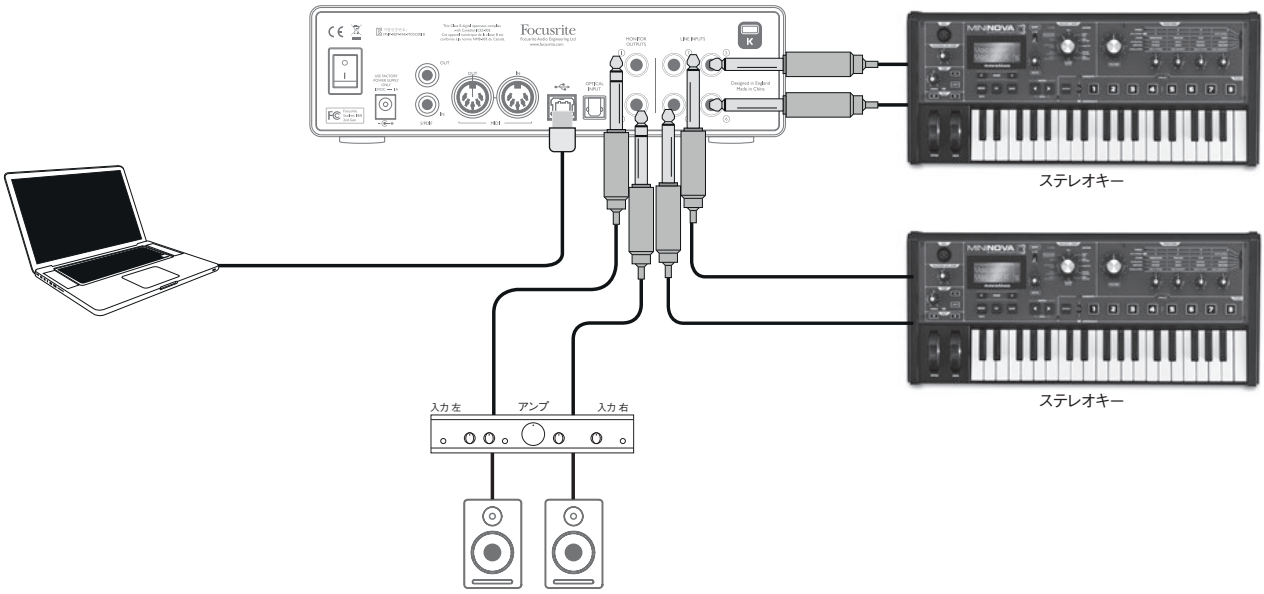
*一般的な名称。この用語は、DAW によって若干異なることがあります。

使用例

Scarlett 18i8 は、様々な異なるレコーディングとモニタリングアプリケーションとして使用が可能です。一般的な構成をいくつか以下に示します。

マイクや楽器の接続





このセットアップでは、Mac または Windows 上の DAW ソフトウェアでミュージシャンのグループをレコーディングするための代表的な構成を示しています。この場合、Input 1 と 2 は 2 つのギターに使用し、Input 3 と 4 はボーカルに使用します。2 つのステレオキーボードは、リアパネルの Input 5 ～ 8 に接続します。レコーディング中、DAW の再生はスピーカー（別の部屋にある場合 – その他の場合はヘッドフォンを使用）でモニターすることができ、Focusrite Control で各ボーカリストに合わせたヘッドフォンミックスを提供するよう構成することができます。このミックスは、他のボーカル、ギターおよびキーボード、さらに、既にレコーディングされたその他の DAW トラックなど、どのような構成でも可能です。

フロントパネルの入力端子は XLR コンボタイプで、XLR オスコネクタ（おそらくマイクロフォンケーブルの端に付いています）または¼インチ（6.35mm）ジャックプラグのどちらかを使用できます。Scarlett 18i8 には「マイク/ライン」スイッチが備わっていませんのでご注意ください。Focusrite のプリアンプでは、XLR を入力端子に接続すると自動的にマイク用に、またジャックプラグに接続すると自動的にラインまたは楽器用に構成されます。楽器（ギターなど）を通常の 2 極（TS）ギタージャックによって接続している場合、Focusrite Control（**Device Settings** ページ）で INST を選択し、3 極（TRS）ジャックによって外部オーディオミキサーのバランス出力などのラインレベルソースを接続している場合は LINE を選択します。また、コンボコネクタは両タイプのジャックプラグに対応していますのでご注意ください。

コンデンサーマイクを使用する場合は、**48V**ボタンを押してマイクにファンタム電源を供給します（例では、Input 3 と 4 の **48V**ボタンです）。他のタイプのマイクを使用している場合はこのボタンをオフにしておくことを推奨します。**48V** ボタンはペアになっている入力の両方のファンタム電源をオンにするので、ファンタム電源を使用することでコンデンサーマイクではないタイプのマイクに損傷を引き起こす可能性があるためコンデンサーマイクと他のタイプ（例、ダイナミクス）のマイクを混在させない方が安全です。

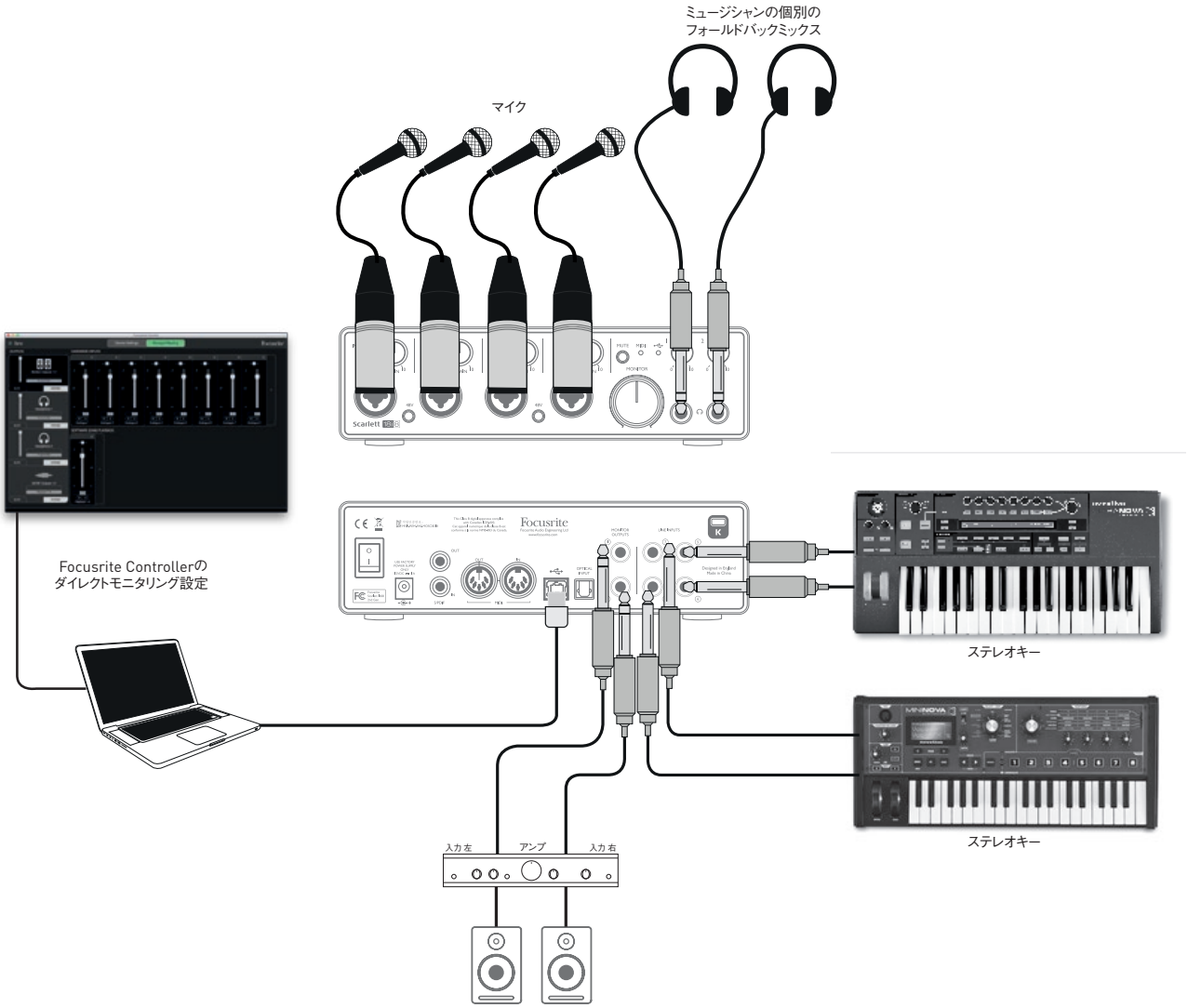
Scarlett 18i8 の 1 ～ 4 の各チャンネルには **PAD** 機能が搭載され、Focusrite Control（機器設定ページ）で選択できます。Pad を回路に切り替えると入力感度が 10dB下がります。ラインレベルのソースを入力している際に出力が高すぎるレベルの場合、これによって解決されることがあります。

低レイテンシーモニタリング

デジタルオーディオシステムに関連して「レイテンシー」という用語を聞くことがよくあります。上記のような DAW レコーディングアプリケーションの場合、レイテンシーとは、お使いのコンピュータおよびオーディオソフトウェアを入力信号が通過し、オーディオインターフェース経由で再度戻ってくるまでにかかる時間です。レイテンシーは、シンプルななレコーディング環境では問題になりませんが、特定の状況では入力信号をモニタリングしながらレコーディングを行いたい演奏者にとって障害となる可能性があります。これは、お使いの DAW のバッファのサイズを増やす必要がある場合に当てはまることがあり、多数の DAW トラック、ソフトウェアインストゥルメント、FX プラグインを使用して特に大きいサイズのプロジェクトでオーバーダビングする際に必要となる可能性があります。バッファ設定が低すぎる場合、ノイズが発生したり、お使いの DAW（多くの DAW では現状のCPU使用量が表示されます）で CPU 異常な負荷がかかってしまう場合があります。Mac では DAW アプリケーション自体でバッファサイズを上げることができますが、Windows では通常 DAWの環境設定からアクセスできます。

Focusrite Control と一緒に Scarlett 18i8 を使用すれば、低レイテンシーモニタリングが可能となり、この問題を解決できます。Scarlett 18i8 のヘッドフォン出力に入力信号を直接ルーティングすることによって、ミュージシャンは、コンピュータの再生と一緒に、超低レイテンシーで、つまり「リアルタイム」で効果的に自身の音声を聞くことができます。コンピュータへの入力信号が、この設定によって影響を受けることはありません。ただし、レコーディングにエフェクターが加えられている場合にも、ソフトウェアプラグインによってライブの楽器に追加されているエフェクトは、ヘッドフォンで聞くことができなくなるのでご注意ください。

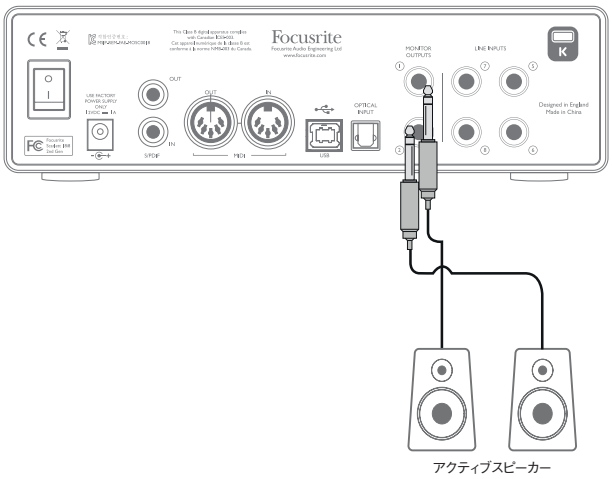
この例では、各ボーカリストが自身のモニターミックスを聞くことができます。Scarlett 18i8 でそれぞれ独自のヘッドフォン出力を別々に使用することができるためです。Focusrite Control では、最大 4 つの個別のステレオミックス（または 8 つのモノラル）を構成することができ、これらのミックスには、既にレコーディングしている DAW トラックおよび現在の入力信号も割り当てることができます。ここでは 2 つのステレオミックスのみを使用しています。

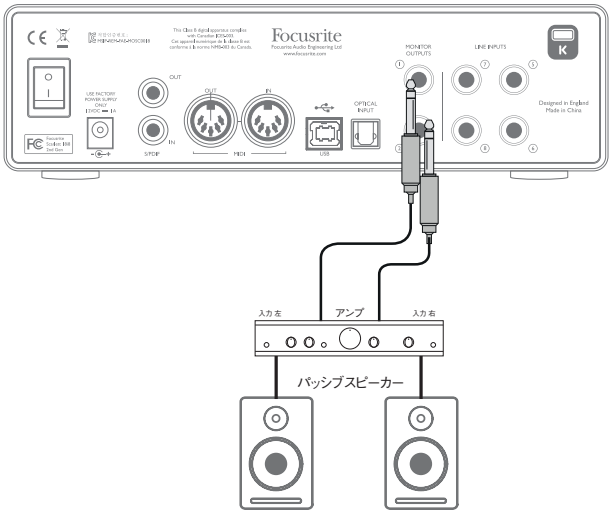


ダイレクトモニタリングをオンに設定する際は、お使いの DAW ソフトウェアが入力（現在レコーディング中のもの）を出力へルーティングしないように設定されていることを確認してください。設定されている場合、一つの信号がエコーとして可聴的に遅延するので、ご自身の音声がエコーのように遅れて聞こえます。

スピーカーへの接続

リアパネル上の 1/4 インチ **MONITOR OUTPUT** ジャックは、モニタリングスピーカーに音源を送信するために通常使用されます。アンプ内蔵型のモニタースピーカーは音量コントロールを内部アンプに組み込んでいるので、直接接続することができます。パッシブラウドスピーカーには、別途ステレオアンプが必要です。その場合、リアパネルの出力はアンプ入力に接続しなければなりません。





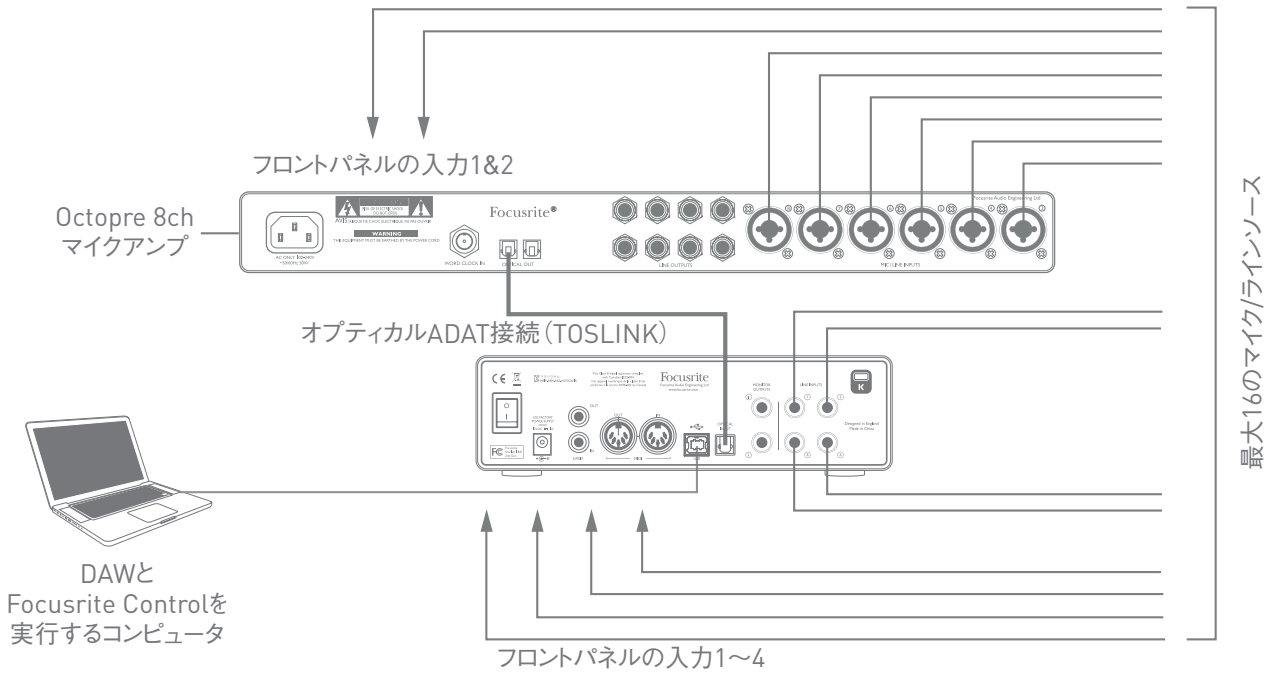
すべてのライン出力コネクタは 3 極（TRS）¼インチ（6.35mm）ジャックソケットであり、バランス出力です。一般的な家庭用（Hi-Fi）アンプと小型パワードモニターには、おそらくフォノ（RCA）ソケット上またはコンピュータに直接接続するための 3.5mm 3 極ジャックプラグ経由のいずれかにアンバランス入力が備わっています。いずれの場合も、一端にジャックプラグの付いた適切な接続ケーブルを使用します。

プロフェッショナル用アクティブモニターおよびプロフェッショナル用パワーアンプには一般的にバランス入力が搭載されています。

注意:マイクと同時にラウドスピーカーがアクティブになっている場合、音にフィードバックループが生じるリスクがあります。レコーディング中は必ずモニタリング用ラウドスピーカーをミュート（またはオフ）にし、オーバーダビング中はヘッドフォンを使用することを推奨します。

ADAT 接続の使用

Scarlett 18i8 では、8 つのアナログ入力に加え、44.1/48kHz のサンプルレートでは 8 つのオーディオ入力が、88.2/96kHzでは 4 つのオーディオ入力が使用できるオプティカル ADAT 入力ポートが備わっています。（オプティカル ADAT 入力ポートは、176.4/192kHz のサンプルレートには対応していませんのでご注意ください。）Focusrite OctoPre MkII などの ADAT 出力が装備された 8 チャンネルマイクロフォンプリアンプを別途用意することで、シンプルかつ優れた方法で Scarlett 18i8 の入力を拡張することができます。



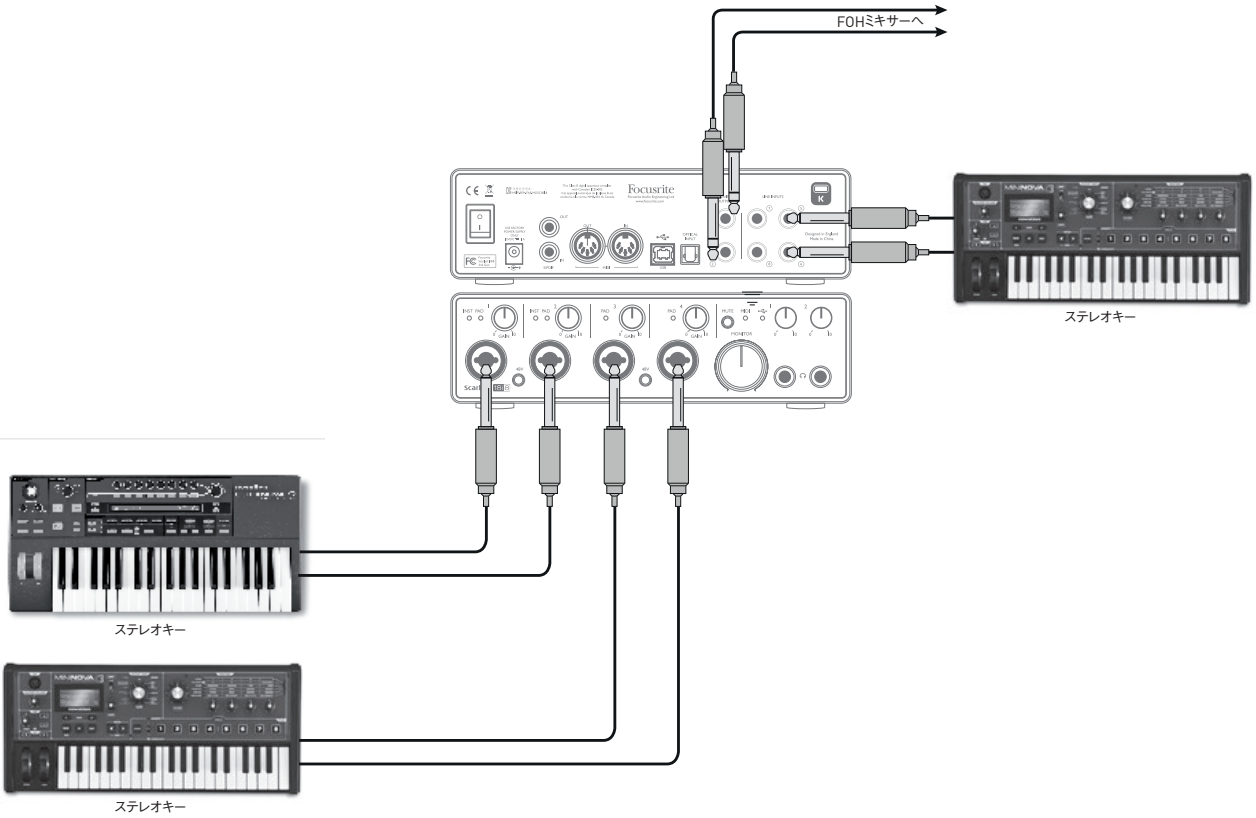
OctoPre MkII の ADAT 出力は、一本の TOSLINK オプティカルケーブルで Scarlett 18i8 の ADAT入力に接続されています。機器同士を同期するには、OctoPre MkII のクロックソースを **Internal** に設定し、Scarlett 18i8 のクロックソースを **ADAT** に設定します。

ヒント：2 つのデジタル機器を相互に接続する際は、必ずこれら両方の機器を同一のサンプルレートに設定してください。

ADAT ポートの使用して追加された入力は、Focusrite Control を使用してその他の入力と全く同じ方法でルーティングできます。追加された入力は、必要に応じて任意のミュージシャンのヘッドフォンミックスの一部を形成できます。

スタンドアロンミキサーとしての使用

Scarlett 18i8 には、Focusrite Control で設定したミックスの構成を本体に保存できる機能があります。例えば、コンピューターを使用してステージ上のキーボードのミキサーとして設定し、その設定を本体にアップロードするといったことが可能です。キーボード装置の一部を構成するシンプルなローカルミキサーとして Scarlett 18i8 を使用し、複数のキーボードの全体的なミックスを制御することができます。



ここで示されている例では、3 つのステレオキーボードが Scarlett 18i8 に接続され、モニター出力はメインPAシステムに接続されています。演奏者は、3 つ目のキーボードに対してフロントパネルから 2 つのキーボードのボリュームを調整することができます。また、キーボードミックスの全体的なレベルを調整することも可能です。

前述のように、オプティカル ADAT ポートを使用して OctoPre Mk II を接続することでさらにオンステージミックスの柔軟性が増します。全てのキーボードを直接 OctoPre Mk II に接続し、入力レベルの前段階がコントロール可能になります。

FOCUSRITE CONTROL

Focusrite Control ソフトウェアを使用すれば、オーディオ出力へのすべてのオーディオ信号の柔軟なミキシングおよびルーティング、さらに出力モニターレベルの制御が可能になります。サンプルレート選択およびデジタル同期のオプション選択も、Focusrite Control から行えます。

注意：Focusrite Control はその他の Focusrite インターフェースとも使用することができます。インターフェースをお使いのコンピュータに接続して Focusrite Control を起動すると、そのインターフェースが自動的に検出され、入出力数などに適するよう構成されたソフトウェアがハードウェア上で使用できるようになります。

重要：一度オンライン登録を完了すると、別途 Focusrite Control ユーザガイドをダウンロードすることができます。このガイドには、アプリケーションの例とともに、Focusrite Control の使用方法についての詳細な説明が記載されています。

Focusrite Control を開くには、以下の手順に従います。

お使いのコンピュータに Focusrite Control をインストールすると、Dock またはデスクトップ上に FC アイコンが配置されます。このアイコンをクリックして Focusrite Control を起動します。

お使いの Scarlett インターフェイスが USB ケーブルでコンピュータに接続されていることが認識されると、Focusrite Control GUI（グラフィカルユーザインターフェース）が以下のように表示されます（Mac の場合）。

以下の表では、**Direct Routing** がプリセットオプションとして Focusrite Control で選択されている場合のチャンネルルーティングが示されています。 ページ 18 のスクリーンイメージを参照してください。

サンプルレートが 44.1kHz および 48kHz の場合：

チャンネル番号	入力	出力
1	Input 1	Output 1
2	Input 2	Output 2
3	Input 3	Output 3
4	Input 4	Output 4
5	Input 5	Output 5
6	Input 6	Output 6
7	Input 7	S/PDIF 1
8	Input 8	S/PDIF 2
9	S/PDIF 1	
10	S/PDIF 1	
11	ADAT 1	
12	ADAT 2	
13	ADAT 3	
14	ADAT 4	
15	ADAT 5	
16	ADAT 6	
17	ADAT 7	
18	ADAT 8	

サンプルレートが 88.2kHzおよび 96kHzの場合：

チャンネル番号	入力	出力
1	Input 1	Output 1
2	Input 2	Output 2
3	Input 3	Output 3
4	Input 4	Output 4
5	Input 5	Output 5
6	Input 6	Output 6
7	Input 7	S/PDIF 1
8	Input 8	S/PDIF 2
9	S/PDIF 1	
10	S/PDIF 1	
11	ADAT 1	
12	ADAT 2	
13	ADAT 3	
14	ADAT 4	
15		
16		
17		
18		

サンプルレートが 176.4kHzおよび 192kHzの場合：

チャンネル番号	入力	出力
1	Input 1	Output 1
2	Input 2	Output 2
3	Input 3	Output 3
4	Input 4	Output 4
5	Input 5	Output 5
6	Input 6	Output 6
7	Input 7	S/PDIF 1
8	Input 8	S/PDIF 2
9	S/PDIF 1	
10	S/PDIF 1	
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		

詳細については、Focusrite Control ユーザーガイドを参照してください。

仕様

性能仕様

構成	
入力	18：アナログ：(8)，ADAT（8)，S/PDIF（2）
出力	8：アナログ（6)，S/PDIF（2）
ミキサー	完全に割り当て可能な 18 イン/8 アウトソフトウェアミキサー（Focusrite Control）
デジタル性能	
対応サンプルレート	44.1kHz, 48kHz, 88.2kHz, 96kHz, 176.4kHzおよび 192kHz
クロックジッタ	<250ps
マイク入力	
周波数特性	20Hz ～ 20kHz, +0.5/-1.5dB
ダイナミックレンジ	109dB（A特性）
THD+N	< 0.002%
ノイズ EIN	–127dBu
最大入力レベル	+8.5dBu（パッドなし）
ゲインレンジ	50dB
ライン入力 1 と 4	
周波数特性	20Hz ～ 20kHz, +0.5/-1.5dB
ダイナミックレンジ	109dB（A特性）
THD+N	< 0.003%
最大入力レベル	+22dB
ゲインレンジ	50dB
ライン入力 5 と 8	
周波数特性	20Hz ～ 20kHz, +/-0.5dB
ダイナミックレンジ	110dB（A特性）
THD+N	< 0.003%
最大入力レベル	+16dB

楽器入力	
周波数特性	20Hz ～ 20kHz, +0.5/-1.5dB
ダイナミックレンジ	109dB（A特性）
THD+N	< 0.003%
最大入力レベル	+12dBu
ゲインレンジ	50dB
モニター出力 1 と 2	
周波数特性	20Hz ～ 20kHz, +/-0.5dB
ダイナミックレンジ	108dB（A特性）
THD+N	< 0.001%
最大出力レベル（0dBFS）	+16dBu、バランス
ヘッドフォン出力	
周波数特性	20Hz ～ 20kHz, +/-0.5dB
ダイナミックレンジ	108dB（A特性）
THD+N	< 0.001%
最大出力レベル（0dBFS）	+13dBu

物理的特性と電気的特性

アナログ入力 1 と 2	
コネクタ	XLRコンボタイプ：フロントパネル上の Mic/Line/Inst
マイク/ライン切替	自動
ライン/インストゥルメント切替	Focusrite Control のソフトウェアを使用
ファンタム電源	入力 1 と 2 用の共有 +48V ファンタム電源スイッチ
アナログ入力 3 と 4	
コネクタ	XLR コンボタイプ：フロントパネル上の Mic/Line/Inst
マイク/ライン切替	自動
ファンタム電源	入力 3 と 4 用の共有 +48V ファンタム電源スイッチ
アナログ出力 1 ～ 6	
コネクタ（出力 1 と 2）	リアパネルのバランス¼インチ TRS ジャック x 2
ステレオヘッドフォン出力 （出力 3 ～ 6）	フロントパネルの¼インチ TRS ジャック x 2
メインモニター出力レベルコントロール	フロントパネル上
ヘッドフォンレベルコントロール	
その他の入出力	
ADAT	TOSLINK オプティカルコネクタ 44.1/48kHz で 8 チャンネルまたは 88.2/96kHz で 4 チャンネル
S/PDIF 入出力	フォノ（RCA）x 2
USB	USB 2.0 タイプBコネクタ x 1
MIDI 入出力	5 ピン DIN ソケット x 2
重量および寸法	
幅 x 奥行 x 高さ	192mm x 66mm x 229mm 7.56 インチ x 2.6 インチ x 9.02 インチ
重量	1.68kg 3.70 ポンド

トラブルシューティング

トラブルシューティングに関する質問がある場合は、次の Focusrite Answerbase のウェブサイトへアクセスしてください。https://support.focusrite.com/hc/en-gb/requests/new このサイトでは、 多数のトラブルシューティング例を説明する記事が掲載されています。

著作権表示と法定通知

Focusrite は登録商標であり、Scarlett 18i8 は Focusrite Focusrite Audio Engineering Limited の商標です。

その他すべての商標および商品名は各所有者の財産です。
2016 © Focusrite Audio Engineering Limited. All rights reserved.